

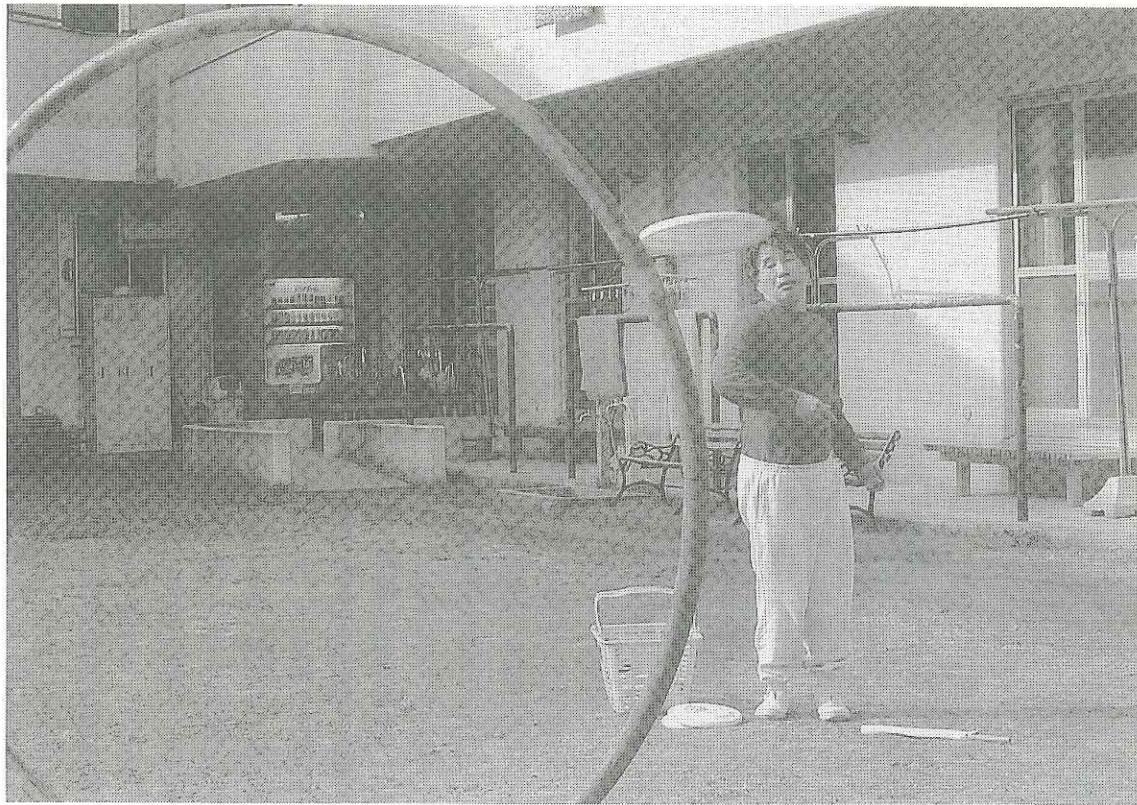


ひだまり

目次

散歩道	1
さくら千手園	2
平成13年度事業計画	2
作業班外出	2
千手園日記	3
木の宮学園	4
平成13年度事業計画	4
花見外出	4
木の宮日記	5
新任職員紹介	6
アプローチ	
施設オンズマン制度(その四)	7
情報フラッシュ	8

さくら千手園 佐倉市青苔1019 043-462-2008 木の宮学園 佐倉市青苔1051 043-463-1008



千葉県障害者スポーツ大会に向けて

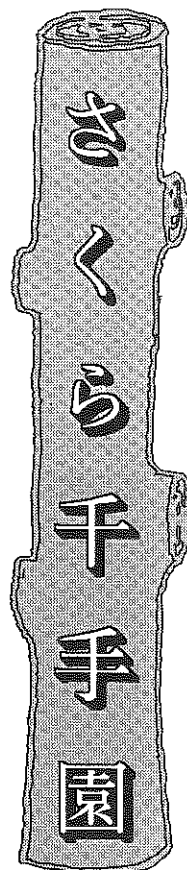
散歩道

スポーツの秋といいますが、最近の学校の運動会は5月頃に行われるようになっていきます。暑くなるこの時期もなかなか良いものですね。利用者の方も5月27日(日)に千葉県総合運動場で行われる障害者スポーツ大会(第2回)に向けて、練習に励んでいる毎日です。この大会は、さまざまな障害を持つ方が集まり、陸上・水泳・卓球・ソフトボール・フライングディスク競技等を行い、スポーツをすることの楽しさをわかち合う場となっています。

当日はあいにくの大雨となり、雷も鳴り響く中での出発。大会は開会式の堂本知事のあいさつで始まり、参加者は降りしきる雨の中でディスクを握り、精一杯頑張っていました。メダルを貰い喜ぶ顔や出した結果にくやしそうな顔をしている人、いろいろな表情が見られ、「この次もまた行きたい」と笑顔で話してくれたその顔が一番輝いていました。来年はメダルを取るぞと心に誓いながら帰途に着きました。

皆さんお疲れ様!!





平成13年度 事業計画

ノーマライゼーションの理念に基づき、人間としての尊厳や人権を守り、個々の暮らしやライフスタイルを大切に援助活動を行います。本年度改善事項は、昨年12月から開始した施設オンブズマン制度（第3者による苦情解決と施設サービスマン）の充実と夏季・冬季長期帰省期間の短縮（2週間から1週間）を実施します。また、利用制度に向けての準備を行います。

△園内援助活動▽

充実した暮らしと社会参加を目指し、①生活では、ゆとりある生活に努め、週2日の自由日課と週7日の毎日入浴を行います。②健康管理では、健康の維持、増進に努めると共に何か症状のある場合には早期通院・治療を行います。冬季にはインフルエンザの予防接種を実施します。③行事では、ニード別外出・親子宿泊旅行・夏まつり・年忘れ会の他、地域のイベントに多く参加します。④作業では、

働く喜びと社会人として必要な事を体得し、人格形成に役立つよう支援します。また、実習先の開拓を行います。⑤個別プログラムでは、より必要とされるサービスマン個々のニーズに合わせ実施します。⑥クラブ活動では、趣味の時間として豊かな暮らし方を学習します。⑦保護者や地域住民との相互理解や連携とボランティアの育成を図っていきます。

△在宅支援活動▽

入所更生施設としての機能を活用し、短期入所事業・ミニデイサービス事業（入浴）・生活型配食サービス事業等を行い、通所更生施設木の宮学園と協力し、地域の障害をもった人達の生活を支える福祉サービスの拠点としての役割を果たしていきます。

事業は順調に実績を上げてきており、一部改善事項を除き、概ね昨年度事業を踏襲していきます。

（施設長 恵下 均）

作業班別外出

3月のある日。天気は良好。ぽかぽかとしたまぎに外出日和り。利用者、職員合わせて17名はワゴン車に乗り込みいざ出発。まずは「海ほたる」目指して高速道路を突っ走る。あつという間に人工島に到着。食事や観光を済ませ、次に向かうは「東京ドイツ村」である。

名前を聞いただけではピンとこず、どんな所か想像を膨らませながらの入場。入ってみると「広いねー。」と口々に言う声。花畑や

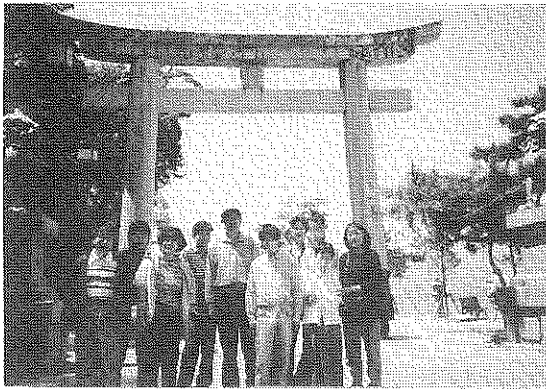


湖、山等があり本当に村のような美しい景色である。そして観覧車やスワンボートがあり、「乗りたい」とみんなの声。特にスワンボートは人気があり、4人1組になりボートに乗り込む。みんなこぎ始めは笑顔で他のボートに手を振る余裕も見られたが、だんだん表情が険しくなり額には汗が…。20分の制限時間内真剣にこぎ続けるNさん。マイペースにこいで景色を眺めるSさん。掛け声ばかり調子良いIさん等々、それぞれ楽しんで乗っている様子。いい汗をかけた所で「喉乾いたね。」と休憩タイム。自然に囲まれた中で飲むココロは、いつもの何倍もおいしく感じたことでしょうか。日もだいぶ暮れかけて、そろそろ帰る準備を始める。「お花きれいだったね。」「疲れたね。」と車中では話に花が咲く。いつかは本物のドイツに行って見たいとみんな思っていることだろう。気分もリフレッシュし、また明日からの作業を頑張れるかなあとと思いながら帰園の途に着いた。

（相沢）

千手園日記

名物満喫♪ 乗り物大満足♪



宮島にて

満員の電車で揺られ、たどり着いた羽田空港から1時間、やってきました広島県。早速、広島風お好み焼きを頬張り満足すると原爆ドーム等市内観光を満喫。2日目は日本三景の一つ「宮島」へと渡り島内めぐり。ロープウェーは怖かったけど頂上から観る360度の景色は言葉では言い表せない程の絶景でした。そして食べるは、あなご丼にかき丼と宮島名物。どうしてもラーメンが食べたいと言って名物には全く眼もくれない人もいましたが、食べた人全員がその味には大満足しました。その日宿泊したホテルかめ福の仲居さんにとっても良くして頂き、思い出深い旅行となりました。最終日は千手園へ帰るうれしさと広島を離れる淋しさが交錯する中、全員がたぐさんのお土産を買って帰路へとつきました。今回の旅行では、電車、バス、飛行機、船、路面電車に乗ることができ、乗り物好きには大満足な旅行となりました。

(太田)



いちご狩り

房総の穏やかな日差しを浴びて、じっとなんかしていられない。青い空の下、全面黄色の菜の花畑を思う存分満喫する。「うあー、黄金のジュータンみたい。」車内から思わず出てしまう程の綺麗な風景。南房パラダイスでは、蝶が舞い幻想的な世界が広がる。お腹が空いたら、海の風を感じながら食べる鯖、飯、帆立の寿司に舌鼓を打ち、絞らたての牛乳から作ったソフトクリームを味わう。日が暮れたってまだまだ房総の一日は終わらない。南国ムードが漂うホテルで豪華なディナーを食す。

房総の旅はまさにポエムで飾るような旅行でした。房総のすばらしい景色と新鮮な魚貝類を皆で食べ満喫してきました。どちらかというと「花よりだんご？」だったと思います。最後に苺狩りをした際に皆が思ったポエムの一つ。

「館山の苺の味、それは初恋の味」(島田知)

「ポエムの旅」

房総の穏やかな日差しを浴びて、じっとなんかしていられない。青い空の下、全面黄色の菜の花畑を

知った仲間を見かけるといふ事は新鮮でうれしいものです。「ほら、あそこを歩いているよ。」「すごい。もうあんなに遠くまで行っているよ。」とみんな目を輝かせていました。公園までの長い道程もいよいよクライマックス。徒歩組最後の難関はゴール間際にある坂道です。「もう少し緩やかな下り坂。みんな足どりも軽やかに、ゴールに向かって歩いていきました。」

(高橋克)

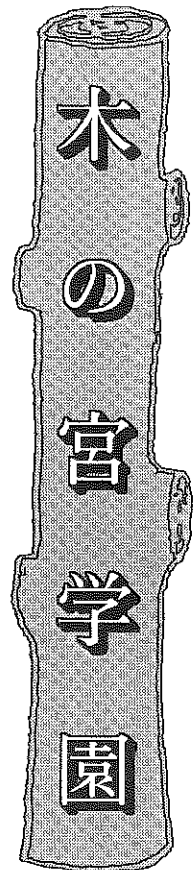


七井戸公園へ

かかれて出発です。ハイキング中は歩いている時に電車に乗った仲間を見たり、逆に電車の方から歩いている仲間を見付けた。いつもの施設ではなく、広い街の中で見

「街の中で」

暑くもなく寒くもない薄曇りの中みんな朝から元氣一杯です。そう、今日は2年に1度のハイキング。帽子をかぶったり、靴を履いたり各自準備に余念がありません。あるグループは電車で、またあるグループはバスで、はたまたあるグループは徒歩で。手前は違えど、目的地は同じ。七井戸公園に向け8つのグループに分



平成13年度 事業計画

本年度は21世紀・開設10年目・第2期5カ年計画の最終年という節目の年度となります。新たな気持ちで『初心に返り』今後の方向性を見極めながら、次の各項目に取り組んでまいります。

①より一層のサービスの質の向上を図るために援助課内の組織を見直し、部門別会議を次の通りに新設します。

I・日中活動支援部門（個別プログラムと小集団プログラム）の2つに分離する）

II・権利擁護支援部門

III・地域生活支援部門

それぞれの部門毎にテーマを定め、利用者や家族の代表者にも出席してもらうことを視野に入れ、協議を進めていきたいと考えております。

②地域の在宅障害児・者への支援をより充実させていくため、昨

年度よりサブ圏域各行政（佐倉市・四街道市・八街市）等との調整を進めてきました「障害児・者地域療育等支援事業」の認定申請を行います。尚、コーディネート活動拠点としては、法人内の多目的ホール棟の一部増改築を計画しております。

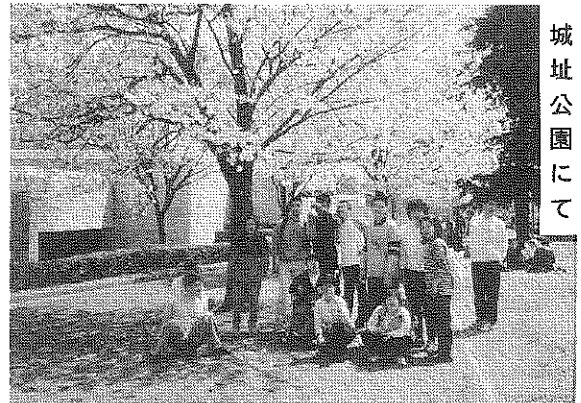
③短時間レスパイトサービス事業（タイムケア・移送サービス・入浴・外出付添い等）の一部改正を行い、利用料とは別に年会費制度の導入を実施します。この年会費はコース選択制とし、利用者のニーズに応じてコースを選択することで利用料が変動するようにしています。

④夏期休暇期間を5日間に短縮します。

本年度も関係各機関の皆様のご支援・ご協力を何卒宜しくお願い致します。（施設長 稲阪 稔）

致します。（施設長 稲阪 稔）

城址公園にて



春の楽しみといえば、なんといってもだんご三兄弟……いえいえ、やはり「花見」です。今年度も作業班ごとに3つのグループに分かれ、利用者の方に行きたい場所をそれぞれ企画してもらいました。グループごとに外出の日が違いためか『今年の桜は例年より開花が早いようです。』というニュースのレポートの言葉に焦りを覚えているかな「美味しいものは食べようね」「カラオケだ！お寿司だ！」と利用者、職員共に今か今かと外出の日を待ち望んでいました。

第一陣は、城址公園で花見と寿司

を食べようツアー”です。やはり4月の始めということもあり桜は満開／春らしいピンク・ピンク・ピンクのオンパレード。しかし公園内も人・人・人で満杯／ということでも早々に引き上げ、近くにある寿司屋大京でお腹一杯食事を楽しみカラオケを堪能してきました。

第二陣は「バスで行こう昭和の森ツアー”です。昼食が遅くなつてしまい大急ぎでご飯を食べ終えると目的地である昭和の森に向かいます。公園内には大きな桜の木があり、ほとんど人もいなかったため特等席を難なく確保出来て、皆散りぎわの桜の美しさに見惚れていました。

第三陣は「小林牧場に桜は残っているかツアー”です。期待どおりか期待はずれか、牧場内の桜は一週間前にすでに散ってしまったということ、一面あざやかな緑・緑のオンパレード。第二の目的の競走馬を見ることも出来ずに「何が悲しいのか葛城育学ツアー”となつてしまいました。それでも、牧場内の池にいたザリガニを見れたので皆満足していたようです。

（小石）

木の宮日記



名所めぐり

庭一面梅が咲き誇っておりその梅の下で利用者の方が持ってきたカメラで記念写真を撮ったり、香りを楽しんでいたり皆さんそれぞれに一足先に春を感じていました。利用者同士で「又来年も梅見に来よう」と話していました。きっと沢山のお土産話が出来たことだと思えます。

(山田)

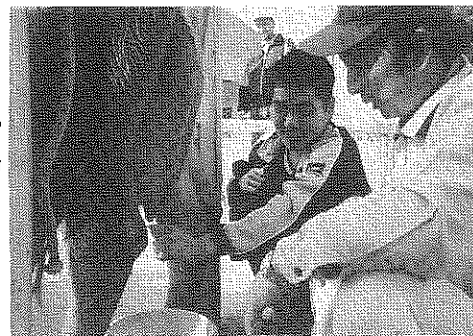
うまい・うまい・うまい!

3月2日、この日はあいにくの曇り空。われわれ一行5名は、一路犬吠埼を目指していました。車に揺られること2時間半、ようやく海が見えてきた頃にはTさんもKさんもまぶたが半ばまで閉じています。一人はしゃいでいたAさんもちょっと元気がない様子。海の波も高く、まるで日本海のような感じでした。そんな中、今日の目的地犬吠埼観光ホテルに着きました。部屋に着くと早速食事です。食事が運ばれてくるとさっきまでウトウトしていたTさんKさんも目を覚まします。普段おとなしいTさんも超ゴキゲン! 「うまい!」の連発です。KさんAさんは黙々と食べ続けています。職員もついつい食べるほうに集中してしまいうそう…。そんな素敵な食事の後は、雄大な太平洋を望む温泉にゆったりとつかる至福の時間です。みんなお腹もいっぱい、帰りの車は満足そうな寝顔が並びました。(新井)



3月8日、9日利用者6名、職員3名計9名で伊豆方面へグループ旅行に行っていました。当日は天候にも恵まれて一路熱海へ向かいました。1日目の予定は去年熱海に完成したばかりの新名所、博物館村「ふしぎな町一丁目」「熱海城」「お宮の松」をそれぞれ見学しました。皆さんが一番楽しんでいたのは、ふしぎな町一丁目でした。入った瞬間名前の通りふしぎな感覚に陥ってしまいしばらく時間が経つのも忘れて皆さん思い々楽しんでいました。2日目は、ホテルの近くにある熱海梅園に場所を移し楽しい一時を過ごしました。さすがに梅園というだけあって

係員さんありがとう



2月23日天気は晴れ。利用者4名・職員3名のグループで茨城県にある『ポティロン森』へ出掛けました。到着すると

すぐに昼食です。料理が運ばれてくるまでにパンフレットを見ながら皆で相談し、昼食後の予定を考えています。満腹になり店を出るとゴーカートへ直行です。アクセル全開で気分爽快。その後は、変形自転車に乗ったり散歩をしたりとのんびり過ごし、ロバや羊などの動物に餌をあげて満喫している様子です。最初は動物を怖がり餌を投げるようにしてあげていましたが、慣れてくると手のひらにのせたまま口元に運べるようになり、「舐められた」「噛まれた」と言いながらも満面の笑顔です。帰路に着こうとしていると1頭の乳牛を発見。係員に声を掛けてみると特別サービスの乳絞り。蹴られないか聞きながら恐る恐る近寄り牛の乳を握ってみると、ミルクが飛び出しびっくり仰天。「これは面白い」と帰るのを忘れるほど夢中になって絞り続けていました。(山崎)

平成13年度 新任職員紹介

私、保永直美は広島県出身で、今は佐倉市西志津に住んでいます。

4月よりさくら千手園で働き始めました。まだ不慣れで余裕を持つことが出来ませんが、この新たな気持ちで大切に職員として成長していきたいと意気込

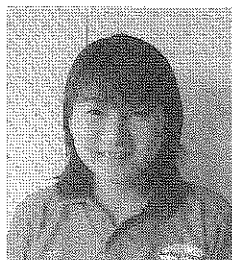


指導員 保永 直美

す。 たらと思っので、ご指導の程どうぞよろしくお願い致します。

(保永)

今年度より千手園で働く、松戸市出身の小川です。松戸市といえは「マツキヨ」の本拠地としても有名ですが、マツキヨ事、松本清は元松



指導員 小川 幸枝

戸市長であり市民の要望にすぐに応える事ができるように「すぐやる課」を設けました。私も松本清に負けないように、何事に対して

も積極的に取り組み、記憶に残るような援助者になる様にたくさんの方をこの千手園で学び、頑張っていきたいです。

(小川)

でいます。利用者の方をはじめ保護者の皆様には何かと御迷惑をお掛けするとは思いますが、毎日を大切にしてい

良い関係を築いていけるようにしたいです。

施設に通い始め、利用者の方々と出逢って一ヶ月。緊張と戸惑いで利用者の方々には大変ご迷惑をおかけして申し訳ありません。

少しづつゆとりを持って接する事ができる様、利用者の方々と職員の方から勉強させて頂きながら

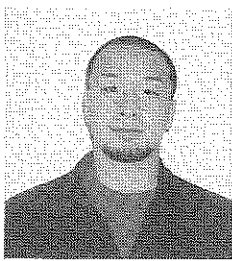


指導員 大谷 ちゆき

ワー不足は持ち前の明るさと笑顔でカバーして頑張りますので宜しくお願い致します。

(大谷)

千手園の皆さんと共に過し、もうすぐ一年になります。初めは、実習生として、次は、夜間のアルバイトとして、そして4月からは、非常勤として働く事になりました。



介助員 長谷川 隆太

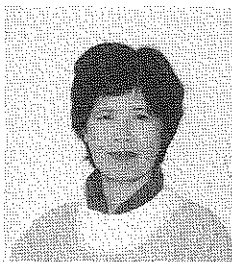
今までは、利用者の方、職員の方には、本当に良くしていただきました。4月から働いていく中で、少しずつですが恩返しを

するつもりで頑張っていきたいと思っております。皆さんの笑顔を見られるように今後も、一生懸命、頑張っていきたいです。

(長谷川)

一月から洗濯物畳み班の皆さんといっしょに仕事をする事になりました。一生懸命畳む中での会話などで、私自身も楽しんでいきます。

我家は千手園からすぐ近くの「小竹」です。皆様のお心づかいや季節のうつり変わりが感じられる環境の中で働ける事に幸せを感じております。よろしくお願い致します。



介助員 鈴木 昭子

一月から、月曜、木曜の洗濯たまで、洗濯たたみの仕事をしていましたのでその後、私が引き継ぎました。仕事も慣れてきましたが、職員の方達、利用者にも迷惑をかける事があるかも知れませんが、これからも宜しくお願い致します。

(鈴木)

先月よりさくら千手園で働かせて頂くことになりました。今は仕事の流れを覚えることで精一杯ですが、早くしかし焦らずに利用者の方々と接し、私のことを知って頂くと共に利用者の方とよりよい関係を築いていけるようにしたい

と思っています。社会人としての責任と自覚を持ち、一生懸命頑張っと思っています。至らない点など多々あると思



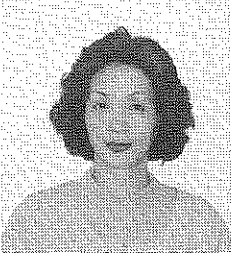
指導員 小林 恵

います。皆様よりご指導頂きたいと思

(小林)

一月から、月曜、木曜の洗濯たまで、洗濯たたみの仕事をしていましたのでその後、私が引き継ぎました。仕事も慣れてきましたが、職員の方達、利用者にも迷惑をかける事があるかも知れませんが、これからも宜しくお願い致します。

趣味はショッピングと映画鑑賞です。家族は主人と高校三年の息子がいます。母が昨年



介助員 村山 尚子

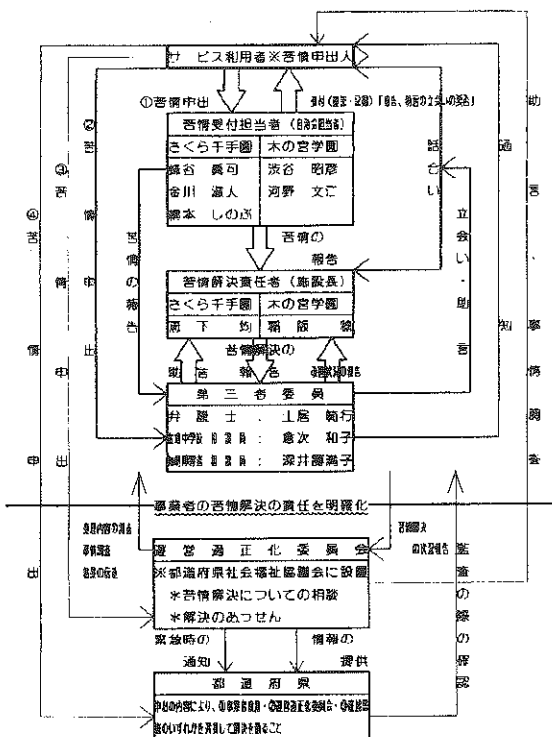
職員の方達、利用者にも迷惑をかける事があるかも知れませんが、これからも宜しくお願い致します。

(村山)

Approach

アプローチ=接近する・研究方法

千手会福祉サービスに関する苦情解決システムの概要図



施設オンブズマン制度(その四)

木の宮学園

施設長 稲阪 稔

昨年6月に発行された第10号より、3回のシリーズにて「施設オンブズマン制度」によりよい施設サービスをめざして一を掲載させて頂きました。原稿を快く、お引き受け頂きました東京都千葉福祉園のサービスポイント検査委員の2名の方に対し、深く感謝申し上げます。大変お忙しい中、ありがとうございます。

さて、このシリーズにて施設オンブズマン制度についての概要等を解りやすく説明して頂いた訳ですが、時を同じくして昨年6月7日に社会福祉法が施行されました。この法律は、福祉サービスに関する情報の提供・利用の援助及び苦情の解決に関する規程を整備し、福祉サービス利用者の利益の保護を図ることを目指しています。この趣旨に基づき、第82条において「社会福祉事業の経営者は常にその提供する福祉サービスについて、利用者等からの苦情の適切な

第三者委員の御紹介



深井 壽満子 倉次 和子 土居 範行

解決に努めなければならぬ」とされています。これらから、当法人では昨年の12月より「福祉サービスに関する苦情解決委員会」を発足させ、具体的な取り組みを開始しました。その内容について、紙面の都合上簡単にご紹介致します。

◎平成11年度より理事会及び施設オンブズマン制度検討委員会等を通じての協議や厚生労働省局長通知「福祉サービスに関する苦情解決の仕組みの指針について」等により、委員会要項を作成して両施設に苦情解決責任者・苦情受付担当者・第三者委員(3名)を配置しました。苦情解決の手順については上記の苦情解決システム概要図を参照して下さい。

◎利用者や家族等への周知として両施設の玄関にパンフレットを掲載し、家庭に資料等を配布した上で家族会を開催して説明を行いました。

◎苦情等の相談は常時に行います

《苦情・相談内容》	
(H12.12~H13.3)	
● 話しをしてみたい	36件
● 生活面について (日課・余暇・給食等)	10件
● 他利用者との関係について	10件
● 職員について	6件
● 行事・外出について	4件
● 園内設備について	4件
● 帰省について	3件
● 作業面について	2件
● 給料について	1件

が定期日(毎週金曜日の午後)に受付担当者による窓口を設置します。又、第三者委員による受付窓口は両施設交互に事前通知した上で毎月開催しています。

◎苦情等の相談内容については、個人のプライバシーを十分に配慮した上で年間報告として、この紙面上で公開していきます。

尚、概要図にもありますがこのシステムは各都道府県の社会福祉協議会に設置されております「運営適正化委員会」と連携し、苦情の内容によっては、施設ではなく直接この委員会に申し出ることができる他、施設での解決が困難となった場合には、苦情解決についての相談や解決の斡旋等を行うことになっていきます。

最後になりますが、昨年の12月から本年の3月迄の4ヶ月間での苦情等相談内容をご報告します。

行事予定	
6 月	
6～8日	ニード別旅行：富士五湖
7～8日	グループ旅行： スパリゾートハワイアンズ
7 月	
4～6日	ニード別旅行：房総
12～13日	グループ旅行：那須
8 月	
11日	千手会夏まつり
11～19日	夏休み
23～24日	ボランティア講座
9 月	
3日	総合防災訓練
7～8日	親子宿泊旅行
18～19日	千葉県ゆうあいピック ソフトボール大会
27～28日	グループ旅行
	⊕; 千手園 ⊕; 木の宮学園

「客付に感謝いたします」

- ◎佐倉市社会福祉協議会様
- ◎株式会社オタフク様
- ◎伊藤忠建材株式会社様
- ◎谷口光男様
- ◎佐倉市更生保護婦人会様
- ◎おやじの食事学同好会様

わたしたちの作品(和陶芸) — 新作紹介 —

二年ほど前に「わたしたちの作品」という事で陶芸班の西洋陶芸を紹介し、行く行くは和陶芸にも挑戦してみたいと書きました。本当にやってみて行けるのか不安もあ

りましたが、自由に、楽しくをモットーにやると昨年から和陶芸を始めました。粘土を丸めたり、棒状に伸ばしたり、粘土と粘土をくっつけたり、なかなか思う様な形になつてくれないけれど、失敗すればやり直せばいいと言いながら、作る楽しさ、満足感を味わっています。作品は皿、コーヒーカップ、鉢用のネームプレート、箸置き、灰皿、器など、どれ一つとっても同じ作品はなく個性あふれています。まだまだ完成された作品はできませんが、おもしろい作品だからと買っていかれる方もいらっしゃいます。もちろん家で使ってもら

えることもとてもうれしいです。私達の作品を手取るだけで、きっと心豊かになれる事受けあいです。今後とも陶芸作品をよろしくお願ひ致します。(久島)



おめでとうございます

誕生

- 。金川淑人さん(さくら千手園) 2月23日 長男 隼人くん
- 。吉村拓明さん(木の宮学園) 3月17日 長男 康汰くん
- 。山崎康弘さん(木の宮学園) 4月20日 長男 啓人くん

お世話になりました

- 。榎本 勲武さん(千手園指導員)
- 。樋口優香里さん(千手園指導員)
- 。斎藤 昌世さん(千手園指導員)
- 。宮下 佳子さん(千手園介助員)
- 。佐渡規予子さん(千手園介助員)

異動

- 4月1日付 木の宮学園へ
小宮 新一さん
- 4月1日付 さくら千手園へ
高橋 克之さん

職員事後報告

今年の5月5日のこどもの日。姉の子供の初節句。家族一同が集まり楽しい一日を過ごしました。子供が立って横歩きをすれば大人達はオーッと声を上げ、カタカタを押して前に歩き出したのを見ては、オーッとまた声をあげ、その声に驚いて子供はころびそうになり、またその動作に大人は声を上げ、しまいはびっくり泣いてしまいました。毎回会うのが楽しみにしている今日このごろ。親バカならぬ、叔母バカぶりを発揮しています。(島田靖)